

2023 年北楡会・北海道大学情報系交流会 札幌 北海道大学報告

2023 年 9 月 29 日（金）札幌にて北海道大学大学院情報科学院/大学院情報科学研究院と北楡会との交流会を開催しました。長谷山美紀情報科学研究院長から『令和 5 年度大学・高専機能強化支援事業と本学情報科学院』と題して掲記支援事業に北大が採択され、その実質的な取り組みが情報科学院に影響を及ぼすことから、採択までの背景、経緯と今後の取り組みについてご講演いただきました。日本において圧倒的にデジタル人材が不足する中でも特に北海道の地方としての人材不足は激しく、さらに卒業生の関東・関西方面への就職率が高くなっています。また北大において理系総合で入学し情報系コースを希望する学生は多く、成績上位の学生が配属される傾向がうかがえます。このような現状から大学・高専機能強化支援事業の高度情報専門人材枠に応募し 7 大学のひとつに採択されました。令和 6 度からは情報系コースの学科、修士、博士の定員増を行い、デジタル実践力養成を強化する教育プログラムを展開するとのことです。またデータ駆動型融合研究創発拠点としてデータサイエンスセンターを立ち上げるとのことでした。続いて企業サイドからの講演として、北海道旅客鉄道（株）執行役員山田浩司様より『北海道新幹線札幌延伸を契機とした交通施策・まちづくりについて』と題して、北海道の鉄道の状況、持続可能な交通体系、整備新幹線、北海道新幹線の計画、北海道新幹線の札幌開業効果についてお話いただきました。北海道の面積は国土の 22 % を占めるほど広大であるのですが人口は減少を続けています。また労働力不足も深刻で、鉄道を廃止した路線ではバスでの代替輸送を行うなど持続可能な交通体系の仕組み作りが重要で、取り組みを進めておられます。北海道新幹線は整備新幹線のひとつとして計画されており函館から札幌への延伸区間は現在 67 % の完成度とのことで、札幌東京間は 4 時間 30 分を目指しているとのことでした。札幌駅東側に新幹線改札口が出来て JR タワー 2 などが建設予定となっているとのことでした。その後恒例の大学院生によるポスターによる研究紹介も行われ、交流を深めました。



長谷山情報科学研究院長



山田 JR 北海道執行役員



伊藤北楡会会長